

経営者のための学校情報

太陽 ASG 拝啓理事長先生

第 217 号 この資料は全部お読みいただいて 90 秒です。

今回のテーマ： 時代が求める人材像

産経新聞（9 月 2 日）に、大学と企業を対象に実施した「時代が求める人材像」のアンケート結果が掲載されていました。結果から明らかになった時代が求める人材像のポイントは、「挑戦する姿勢」「受け身からの脱却」「グローバルな視点」の 3 つです。アンケート結果の一部を、以下にご紹介します。（アンケートの回答者：大学 338 校・企業 106 社、回答率：大学 45.1%、企業 11.8%）

1. 大学が最も重視すべきであると考え「キーワード」

（※()内の数字は、6 要素の中の順位）

	主体性 自主性 自立性	グローバル 国際化	行動力 実践力 即戦力	専門性	基礎学力 教 養	総合力 人間力 人間性
大 学	12.7% (1)	12.4% (2)	9.4% (5)	10.7% (3)	10.4% (4)	9.1% (6)
企 業	21.0% (1)	11.4% (3)	12.4% (2)	8.6% (4)	7.6% (5)	5.8% (6)

上記のキーワードを備えた人材の育成に「大学は対応できているか」という質問では、大学の約 78% は「できている」と自負している一方、企業の約 85% は「できていない」を選択し、大学に対する期待とともに不満を示しました。企業の大学に対する改革の要望は、次の 4 点にほぼ集約されます。① 学生が受け身の講義がまだ多い ② 就職に向けた指導などのキャリア教育がスキルやノウハウの伝授に偏っている ③ 国際化対応の遅れ ④ 社会人になることの意識づけの不足

2. 「期待する人材像」に共通して必要と考える姿勢

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
大 学	挑 戦	志	社会貢献	情 熱	独創性
企 業	挑 戦	志	情 熱	主体性	グローバル感覚

若者の挑戦する姿勢や志の育成を「阻害」しているものへの回答で、大学・企業とも多く挙げたのは、①物質的な豊かさ ②ゆとり教育 ③過保護な家庭環境 の 3 つでした。

3. 大学における取組みの一例

上智大学と日本経済団体連合会は、グローバル人材を育成するため、今秋から共同講座を開設します。講座は、「グローバル人材育成モデル・カリキュラム」で、大手企業の現役社員が国際ビジネスの現状を講義し、学生はグループ討論やプレゼンテーションを通して、国際的な事業展開の現状や課題、戦略の立て方を学びます。

お見逃しなく！

育成すべき人材像の方向性は、大学と企業でほぼ共有できていますが、大学における人材育成の現状に対する評価については、大学と企業の間で差が生じています。この差を解消するためには、大学と企業との連携が必要と思われます。

日本経済新聞の「人材教育で注目している大学ランキング」1 位に選ばれた国際教養大学は、社会のニーズに対応したことで注目され、2 位の東京大学の 3 倍の支持がありました。